

## 「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社FUJI	代表取締役社長	須原 信介	愛知県	製造業	<a href="https://www.fuji.co.jp/">https://www.fuji.co.jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年11月8日
-------	------------

**(取組方針)**

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

**(法令遵守への配慮)**

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

**(契約内容の明確化・遵守)**

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化などの提案、要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ③	パレット等の活用	・パレット、通箱、インナートレー等を活用、使用促進することにより荷役時間を削減します。インナートレーは無償貸し出しを実施しています。
3	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	・発荷主として貨物を発送する場合に、物流事業者や着荷主の準備時間を確保するため、入出荷情報等を早めに提供します。
4	A ⑦	運転以外の作業部分の分離	・物流事業者から運転業務と運転以外の附帯作業の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
5	A ⑩	リードタイムの延長	・トラック運転者が適切に休憩を取りつつ運行することが可能となるように、発荷主としての出荷予定時刻を厳守します。 ・着荷主として幅を持たせた到着時刻を認めることなどにより十分なリードタイムを確保します。また、生産動向、繁忙状況に合わせ、リードタイムを変更します。
6	A ⑰	物流システムや資機材の標準化	・取引先からの輸送、梱包等、物流に係る提案については真摯に協議しています。
7	B ④	下請取引の適正化	・下請法に準拠する取引を励行しています。
8	D ①	荷役作業時の安全対策	・荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。 ・梱包荷姿重量として、15キロまでを推奨しています。パレットからはみ出ている部品は通い箱化を進めています。
9	F ①	独自の取組	・自社開発しているスマートロッカーシステム「Quist」を当社事業所に設置し、従業員の宅配物を勤務先で受け取れる仕組みを構築するとともに、ロッカー本体およびシステムを外販することにより、再配達削減に貢献しています。
PR欄			・F①で記載の「Quist」は、大手物流業者とのシステム連携が可能であり、配達者および受取者双方の働き方改革に寄与しています。